

# あそびっくす通信

あそびっくす通信 2014-1号(18号)  
発行：2015年3月31日  
あそびっくす in 東小実行委員会  
名張市桔梗が丘 7-1-86  
名張市立桔梗が丘東小学校内  
編集・発行責任：坂本直司

## ■ 野菜たちのオモシロ断面

誰もが毎日口にする野菜たち。でも食卓上るときには既に切り刻まれた後。知っていそうで意外に知らない野菜たちの内部の様子を子どもたちと一緒に観察しました。そこで見つけた新発見とは・・・

7月12日(土)「野菜たちのオモシロ断面」と題した1学期週末課外授業を、デザインや写真が専門の柿原さん(梅が丘)を講師に招いて開催しました。

使った素材は夏野菜であるキュウリ、ナス、トマト、ピーマン、オクラと巨大なニンニク。包丁で切る前に子どもたちが予想する断面を黒板に描き、縦・横・斜めに切ってみて予想通りかどうか確かめました。面白かったのはキュウリの横断面で、切る位置によって種の数が異なっていたこと。根元が少なく花側である先端部が多かったことでした。

(参加児童6名、保護者3名)



こう見えるはず



オクラを縦に切ると

## ■ 通学路花いっぱい・いっぱい運動

6月28日(土)午後、恒例となった「通学路花いっぱい・いっぱい運動」を開催。「花に水をやりながら子どもたちの安全見守りをお願いします」という委員長の趣旨説明の後、地域の皆さん約200名に学校で育てたマリーゴールドやサルビアの苗約3,000株を無料で配布しました。

また、同時に各通学路に配置してあるプランターの植替えも実行委員の手で行いました。

今までは学校で苗を育ててもらっていましたが、先生方の負担軽減と地域住民の参画を促すため、少しずつですが地域で種を播いて苗を育てる取り組みを始めます。

その準備として、会場でポットへの植替えを来場者に体験してもらいました。



来場者の皆さん



ポット植え体験

この写真は、ヒオラに出来た種で、乾燥が進むにつれて「ピチッ」という音を立てて弾いていきます。

最近ではどこで種を買っても外国産ばかり、しかも

遺伝子操作されているのか種が出来ない花が多いようです。また当日皆さんから18,321円の寄付をいただきありがとうございました。子どもたちのために有意義に使わせていただきます。



## ■ 屋内サマーキャンプ

8月9日(土)午後、20名の児童と12名の保護者の参加を得て、おなじみとなったサマーキャンプを実施しました。但し、今年は耐震工事ににより学校が使えないため、武道交流館を使っての屋内キャンプとなりました。多目的ホールで作戦会議、料理教室でカレー作り、ご飯は炊飯器で炊くことにしました。



涙のタマネギ切り



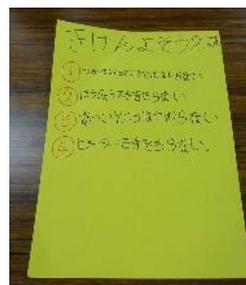
今年はガスコンロでカレー作り

## ● 作戦会議

おなじみになった作戦会議の様子です。子どもたち自らがカレーを作りご飯を炊くためには何が必要かを考えて、「見える化」していきます。



## ● KY



「KY」とは「空気読めない」ではありません。「危険予知」のことで、今年初めて子どもたちと一緒にやってみました。黄色い紙を用意して、これから始めるカレー作りで危険がどこに潜んでいるか話し合い書き出します。おかげで誰一人けかも火傷もありませんでした。

## ● アトラクション

今年のアトラクションは、委員長自ら水木しげるロードで見た妖怪のスライドショーを行いました。

委員長が着ているのはご存じゲゲの鬼太郎のチャンチャンコ。どうもコスプレしないと人前で喋るのが恥ずかしいとか。



## ● はきものを揃える

はきものを揃えると心が揃います。心が揃うと間違いやけがが無くなります。約束を守った子どもたちは一人もけがをさせませんでした。言われてやってもいいのです。「形から入って心に至る」です。



## ■ 夏休み寺子屋

初めての試みとなる「あそびっくす in 東小 夏休み寺子屋」を桔梗が丘 8 番町 1 区の集会所を借りて開催しました。

目的は、

- ① 子どもたちの学力向上
- ② 指導者となる高校生の自己実現（人の役に立つ経験）
- ③ 地域における子ども達の居場所作り研究

の三つで、参加児童は 3 名でしたが、8 月 10 日（日）の午前中に行いました。夏休みで不規則な生活になりがちですが、ウィッツ青山学園高等学校の生徒たち 2 名と一緒に、ラジオ体操から始めて、朝の涼いうちに 45 分×3 限みっちり勉強しました。基本は自習で、子どもたちは各自でやりたい勉強に静かに取り組んでいました。

子どもたちが真剣に集中できたのは、少人数だったことや、柱や畳、障子や襖といった和室の自然素材に囲まれ、精神的に落ち着いたからではないかと思えます。実施後の保護者・児童アンケートでも、継続してほしいという肯定的な意見が寄せられました。



高校生と子どもたち



和の雰囲気いっぱいの部屋

## ■ あそびっくす in 東小 2014

11 月 22 日（土）、今年は土曜授業となったこの日に 2 限目と 3 限目を使って、体験学習とむかし遊びを行いました。

体験学習は、1-2 年生が「チリメンモンスターをさがせ!」、3-4 年生は「CD で作るペンハムのコマ」、そして 5-6 年生は「切り絵で年賀状を作ろう」でした。

むかし遊びは、かんげり、コマ回し、竹トンボ、メンコ、ゴムとび、かごめかごめ、おちゃらか、あやとりなど、26 種類の遊びを学校内の 8 会場に分けて、全員が好きなところを回れるようにしました。これらの遊びは、小学生たちにとってはもはや祖父母が子どもの頃に楽しんだものに違いありません。おそらく、子どもの頃にファミコンが登場したお父さんやお母さんの世代ではすでに無くなっていたかもしれません。

## ● チリメンモンスターをさがせ!

あそびっくす in 東小ではおなじみになった体験学習で、チリメンジャコの中からエビやカニなどを見つけ出すというもので、毎回子どもたちより大人が夢中になります。ごくまれにタツノオトシゴが入っていて、それを見つけた人は狂喜乱舞です。



真剣に探すお父さん

子どもたちは図鑑を使って見つけたチリメンの名前を調べ、チリメンカードにスケッチします。デジカメで撮影すれば簡単にきれいに保存できますが、子どもたちの記憶には残りません。自分の目で見て手を動かしてスケッチすることが大切です。



何匹スケッチ出来たでしょう

## ● CD で作るペンハムのコマ



ペンハムのコマとは、白と黒の模様をつけたコマを回転させることによって、色がついて見えるという不思議なコマのことです。今回は、身近な材料である CD とビー玉を使って製作しました。

## ● 切り絵で年賀状を作ろう

教室中に真剣な空気が流れます。テストをやっているのではありません。みんな真剣にカッターを動かして、年賀状用の切り絵を製作中です。講師は切り絵作家の川瀬さん。



真剣に取り組む子どもたち



子どもたちの作品

## ● むかし遊び

### 1) あやとり

意外だったのが結構知っている子が多かったことです。反面、知らない子は、基本さえも全く知りませんでした。得意な子が丁寧に教えてあげる姿が何度も見られ安心しました。こんなことは、テレビゲームではあり得ないことで、自然にコミュニケーションが生まれるという、むかし遊びのいいところです。またこのコーナーでは、下の写真のように保護者の方が講師を買って出たり、保護者同士でワイワイガヤガヤ懐かしんでくれました。



## 2) 竹トンボ

竹トンボ、うまく飛ぶかな？  
両方の手のひらで竹トンボの軸を回転させるという行為が子どもたちには難しいようです。でも何度かやるうちに体で覚えてうまく飛ばせるようになりました。



## 3) コマ回し

コマ回しにしても、最初はヒモを巻くところからできません。それは単に経験が無いからであって、能力が無いわけではありません。



## 4) かごめかごめ

「うしろの正面だあーれ？」  
子ども達が「かごめかごめ」に夢中になっている姿を見るなんて何十年ぶりでしょう。



## 5) その他の遊び

ヨーヨーやけん玉も人気で、順番待ち状態でした。後日談ですが、今やけん玉は世界的に人気の遊びとなり、国内での入手が困難な状態になっていると玩具店で聞きました。



メンコがなぜかカルタ取りに



今回用意した遊びのマニュアル

初めてというのに「夏もちーかづく八十八夜♪♪・・・」を大声で歌う子。手遊びに夢中になる子。あやとりを一生懸命教えてくれる子。このような子どもたちを見ていると「今どきの子どもたちは、大人が思っているほど冷めてはいないぞ。ゲーム機が無くてもこんなに遊べる無邪気ないい子たちではないか。いつの時代も子どもは遊びの天才、遊びを通じて多くを学んでいるのだ。」と認識を新たにしました。

## ■ 秋の通学路花いっぱい運動



大切に育てることにしました。

10月25日(土)、花のボランティアさんと実行委員の総勢18名が参加して、パンジーとピオラの苗約1,800株をポットに植え替えました。植え替えた後は分担して自宅に持ち帰り、11月22日(土)の配布日まで

ポットへの土入れから植替え完了まで、予定していた2時間もかからず完了。皆さん熟練してきたおかげです。

そして、迎えた無料配布の11月22



日(土)午後、約150名の来場者に約1,500株のパンジーとピオラの苗を配布しました。この日も地域の皆さんから多くのご寄付(13,815円)を頂きありがとうございました。今まで通り、子どもたちの安全見守りをよろしくお願ひします。そして、苗を育てていただいたボランティアの皆さんありがとうございました。

## ■ 子どもたちと地域の絆づくり事業

2年目となる今年度の三校合同事業は、昨年同様秋の通学路花いっぱい運動でした。三校でパンジーの種を4,000粒購入し、9月に播種、10月にポットへの植替えを行いました。学校区によって生育にバラつきがあり、最低限のプランターの植替えが出来る量の苗確保を目標とし、無料配布の開催は各校の事情で決めることにしました。

桔梗東小は、上にも書いたようにポットへの植替え、育成が順調に進み、計画通りあそびっくす in 東小2014の開催日である11月22日(土)の午後配布しました。

今年度は、名張市から委託を受けた「放課後子ども教室事業」の初期投資予算21万円を使って、三校用のノボリ、ノボリ台座、花いっぱい運動看板、ポットへの土入れ器具を購入しました。上の写真がノボリです。

その後は、11月9日(日)名張市教育センターで行われた「放課後子ども教育コーディネーター等交流会」に参加し、私たちの活動を紹介するとともに、他の学校区の取り組みを聞かせてもらいました。



## ■ たき火だ、たき火だ、焼いもだ！



昨年度サマーキャンプでの行動を見て、最近の子ども達は火に接する機会が少なく、その危険性を学ぶチャンスがほとんど無いことに気が付きました。そこで、今年度は久しぶりに「たき火と焼いも」を企画

し、火の有用性と危険性を学ぶ体験学習をすることに決めました。燃料となる落ち葉、もみ殻、小枝は昨年秋から少しずつ溜めていきました。



さらに消防団の皆さんにも正式手続きを経て講師役をお願いしました。

準備が整い、開催日となった2月21日(土)は、雲ひとつない快晴で風もなく絶好のたき火日和となりました。

22名の児童と、14名の保護者の参加を得、桔梗が丘の消防団からは12名の団員が駆けつけてくれました。

以前からもそうでしたが、ほとんどの子どもたちはたき火をした経験がありません。マッチを擦ったことがある子は約2割でした。当然のことながらマッチの擦り方を練習し、最初は燃えやすいものから、徐々に大きなマキを燃やしていく順番を説明することになります。今の時代、たき火のやり方を知らなくても生きていくことは出来ます。でも、この子どもたちが大人になった時、どんな局面でそれが生きてくるかわかりません。



焼けたかな?



焼いもどうぞ!

この日は、消防団の皆さんから火の危険性を教えてもらい、小型消防車の装備や防火服など間近で見せてもらい、いい勉強になりました。また、保護者の皆さんにも消防団から家庭における火の用心についてレクチャーを受けてもらいました。



ホクホクでおいしいな



後片付けも子どもたちで



ゴーストバスターズ?

いつも言っていることですが、危険だからという理由で子どもから火を取り上げるのではなく、正しい使い方と危険性を教

えたらうで体験させてあげてください。

さもないと、大人になってから大やけどをするかもしれません。

消防団の皆さんからいろいろ教えても

らっているうちに焼いもが出来上がり、みんなで分け合っ



いただきました。さつまいもはこうやって食べるのが一番おいしいです。

週末課外授業後、7番町公園で訓練をする消防団の皆さん

## ▼ 長〜い編集後記

- 1) サマーキャンプの課題：今回のサマーキャンプは、台風情報と現実の乖離に迷わされる結果となりました。雨は降っていたものの、屋内行事で暴風雨警報も出ていなかったので開始しました。途中には雨が小降りでも風もほとんどないのに特別警報が出され、夜には避難準備情報まで出されましたが、判断は各自に任せるとのことでした。予定より30分早めに切り上げましたが、今後は予めルールを決めておきたいと思います。
- 2) 2学期、幻の週末課外授業：桔梗が丘みどりの会のみなさんの協力で、桔梗の森公園(自然公園)を舞台にネイチャークイズラリーを計画していましたが、雨のため中止になりました。クイズや看板など準備いただいていたのに残念です。最近、桔梗が丘7番町の皆さんが東小学校の隣にある池周辺の遊歩道を整備してくださっています。いつか子どもたちと一緒に歩いてみたいと思います。これもいつも言っていることですが、「どこまでが安全で、どこからが危険か」を子どもの時からしっかり身につけさせるのは、大人の責任だと思います。
- 3) あそびっくす通信各戸配布の理由：今回もあそびっくす通信は、お子様が小学校に通っているお宅にも、そうでないお宅にも、桔梗が丘東小学校区のご家庭に配布させていただきました。それは、校区内すべての自治会から一戸当たり99円に相当する助成金を頂いていることより、どのような活動をしているのかご報告するためです。今年度で17年続いた活動ですが、地域の皆様におかれましては、地域の宝である子どもたちを私達地域のみんなで育てていくため、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 4) 名張青年会議所の研修に参加：3月19日に名張青年会議所からお誘いがあり、研修会に参加してきました。内容は、子育てに関するものですが、今の子どもたちが置かれている現状と、我々大人が子どもたちにどう向き合いどのように導いていけばいいのかを語り合うもので、40歳未満の会員の皆さん相手にあそびっくす in 東小での経験談などお話をしました。参考にして頂けると嬉しいです。
- 5) ブログにも情報を載せていますので、下記URLを覗いてみてください。そしてぜひ「拍手ボタン」を。  
<http://asobixtuku.blog.fc2.com/>  
「あそびっくす in 東小」で検索が速いです。

地域の皆様、保護者の皆様、教職員の皆様、本年度関わっていただいたすべての皆様に感謝します。ありがとうございました。また来年度もよろしくお祈りします。